

| 施策 | 施策に係る課題 | 課題解決の方向性 | |
|---|--|---|--|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">避難所生活者数の早期低減</p> <p data-bbox="306 193 585 341">応急危険度判定による従前住宅の利用促進</p> <p data-bbox="306 352 585 831">帰省・疎開の奨励・あっせん</p> | 判定士の早期大量確保の限界 | <p>応急危険度判定士の資格拡大による判定士数の充実</p> <p>被災地外の判定士の早期派遣・応援調整に関する仕組みの充実</p> <p>被災地でのロジスティクスの確保</p> | |
| | <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">実施前</p> | 馴染みのない場所へは疎開しにくい | <p>疎開先地域との平時からの交流促進等</p> <p>「震災疎開パッケージ」のさらなる普及</p> <p>被災者の馴染みのある土地での公的住宅等の提供</p> |
| | | <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">実施時</p> | 家財の盗難等が心配で帰省・疎開しにくい |
| | <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">実施後</p> | | 発災後一定期間は交通手段の確保が困難 |
| | | 帰省・疎開先では被災地の情報入手が困難 | 情報提供体制の確立・改善(ワンストップサービス等) |
| | 職場・学校への復帰等を考えると、長期の帰省・疎開は難しい | <p>在宅勤務環境等の整備</p> <p>帰省・疎開先における児童・生徒の受け入れ体制の整備</p> | |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">避難所以外の既存施設の活用による供給拡大</p> <p data-bbox="306 890 585 986">公的施設・民間施設の活用</p> <p data-bbox="306 1007 585 1102">ホテル・旅館、公的宿泊施設の活用</p> | 公的施設、民間施設の受入施設が限定的 | <p>公的施設、民間施設の活用促進(都県立学校、民間企業施設等)</p> <p>追加施設での避難所運営体制の整備(要員確保等)</p> | |
| | 提供に向けての協定締結が進まない | <p>ホテル等との協定締結の促進による避難先の確保</p> <p>ホテル等の避難所利用等を条件とした耐震化等への支援検討</p> | |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">屋外避難への支援</p> <p data-bbox="306 1182 585 1369">屋外でのテント等の活用</p> | テントの調達方法、設置場所が限定的である | <p>自治体による備蓄、設置場所の確保等に関する事前計画の作成</p> <p>テント等の調達に関する民間事業者等との協定の締結等</p> <p>民間企業等が所有するテント・用地等の利用に関する協定の締結等</p> <p>テント等の平時における他用途での活用方策の検討</p> | |
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">避難者の移動</p> <p data-bbox="306 1437 585 1533">近隣地域の避難所の利用</p> | <p>避難後の家財の盗難等が心配で移動しにくい</p> <p>避難先の受け入れ体制が具体化されていない</p> | <p>上記の()に同じ</p> <p>広域避難に係る具体計画の策定と調整方法の明確化</p> | |

応急住宅生活者の収容

| 施策 | 施策に係る課題 | | 課題解決の方向性 |
|--|------------------|--|--|
| <p>応急住宅需要の低減</p> <p>応急修理等による 従前住宅への復帰</p> | <p>住宅</p> | <p>経済的負担が大きいことによる応急修理の遅れ</p> | <p>応急修理に係る経済的支援の充実策の検討等</p> |
| | | <p>業者確保が困難で、修理着手に時間がかかる</p> | <p>事前登録の拡大、施工業者の相談・斡旋に係る体制の整備</p> |
| | | <p>公費解体が先行すれば、応急修理による 従前住宅への復帰が進まない可能性がある。</p> | <p>段階的な応急修理・解体の実施に係る検討</p> |
| | <p>室内</p> | <p>室内環境の悪化による 従前住宅での 継続居住困難</p> | <p>予防対策の推進(耐震化、家具の固定、ガラス飛散防止等) ボランティア派遣・活動体制の整備(家の中の片づけ等の支援)</p> |
| <p>応急住宅の早期供給</p> <p>公的な空き室の 活用(公営住宅等)</p> <p>民間の空き家・空き室の 活用(民間賃貸住宅等)</p> <p>応急仮設住宅の 早期提供</p> | <p>施設 確保</p> | <p>地域による供給量の過不足の発生</p> | <p>行政区を超えた広域調整体制の整備 (過不足状況の想定と事前調整等)</p> |
| | <p>施設 確保</p> | <p>民間からの提供が進まず、供給量が不足する 可能性がある</p> | <p>民間賃貸住宅一時提供制度の協力者への制度の周知等 過不足状況の想定と、協力者がより提供しやすい仕組みの構築 民間賃貸住宅の提供に関する情報提供の一元化 被災した民間賃貸住宅の借上げ・応急修理による活用の検討 家賃一部補助等による民間賃貸住宅のストック活用の制度検討</p> |
| | <p>用地 確保</p> | <p>建設用地が不足する可能性がある</p> | <p>建設用地の提供元の拡大、候補地のGISデータベース化等 個人所有地への応急仮設住宅の建設 一戸当たり住宅面積の見直し等 建設用地が不足するエリアでの2階建て応急仮設住宅の建設等</p> |
| | <p>供給</p> | <p>供給量が不足する可能性がある 建設に時間を要する</p> <p>応急住宅に係る施策別の供給量について、 十分な検討がなされていない</p> | <p>需給バランスの想定と事前調整等 備蓄の促進(維持管理等の問題解決及びそれに対する支援) トレーラーハウスの活用 一戸当たり住宅面積の見直し等 全国からの施工業者の確保 応急仮設住宅の早期調達、据付効率向上等に係る研究支援 外国への応急仮設住宅等の支援要請</p> <p>応急住宅供給の最適配分計画の検討</p> |